

<校訓>

◇ 礼儀

◇ 向上

◇ 健康

<吉田中学校だより 第6号>

ききょう

〒989-2331 住所：吉田字松元238-14

電話：36-2022 FAX：33-9022

学校ホームページ <https://watari-yoshida-jhs.edumap.jp>

令和6年

9月20日発行

生徒数 66人

〔目指す学校〕

共感と感動

挑戦と創造

信頼と協働

実りの秋に向けて ～生徒の発表活動で豊かな心に～

夏休みが明け、学校が再スタートした8月末から9月にかけて、生徒の発表活動に多く触れる機会が設定されました。部活動の集大成として、また学校代表として、堂々と発表する姿に吉中生のたくましく成長する様子が見て取れ、大変嬉しく、よい時間を過ごすことができました。以下にその詳細をお伝えします。

英語暗唱・少年の主張弁論発表会



8月26日(月)6校時、郡英語暗唱弁論大会に出場する生徒2名が翌日に控えた大会本番に先立って発表しました。3年 木村瑞葵さんは「Limelight」(ライムライト)、2年 氏家沙奈さんは「The Emerald Rizard」(エメラルドのトカゲ)を暗唱しました。長い英文を生き生きと話す二人の発表を聞き、大会へ向けて、温かい励ましの拍手を送りました。また、7月2日(火)に利府西中学校で開催された少年の主張仙台地区大会に亘理郡代表で出場した3年 伊藤伊織さんが「自分らしく生きる」と題し

て、自分の考えの移り変わりを述べ、成長できた様子を発表し、共感を得ました。3人とも暑い中でしたが、堂々と頑張って発表できました。

吹奏楽発表会

8月30日(金)6校時に、体育館で吹奏楽発表会を行いました。始めにダンス付きの『ジャンボリ・ミッキー』で盛り上がり、ディズニーソングに続き、3年生のソロ演奏のメドレー、『名探偵コナンのメインテーマ』、そして最後にアンコールで『青と夏』を発表しました。保護者の皆様にも多くご来場いただき、生徒にとってはよい発表の場となりました。この演奏会をもって3年生部員は引退となりますが、最後に素晴らしい演奏を聞かせてもらいました。これまでの頑張りには拍手したいと思います。1・2年生部員の今後の精進にも期待します。



郡国語弁論大会



9月10日(火)の午後に、郡内各中学校から代表生徒が集まり、本校を会場に郡国語弁論大会を行いました。本校からは、3年 五十嵐音碧さんと水戸太慳さんが代表として出場しました。2人とも、堂々と自分のバスケット部の体験から考えた意見を発表しました。他校の生徒もさすがは学校代表だけあって、素晴らしい弁論の連続でした。本校生徒は聴衆の立場でしっかりと代表生徒の意見に耳を傾けていました。聞く態度が素晴らしいとお誉めの言葉もいただきました。なお、水戸太慳さんは優秀賞を受賞し、10月23日(水)に行われる仙台地区大会に郡代表として出場することになりました。全校で応援したいと思います。

生徒会役員選挙

3年生にとっては爽りの秋。これまで吉田中をたいへんよく引っ張ってきてくれた3年生も、すべての部活動で引退し、生徒会活動でも1・2年生に道を譲るときがやってきました。これまでの部活動や委員会活動での先頭に立っての取組は素晴らしいものがありました。

そして次の吉田中を担うのは1・2年生です。1・2年生にとってはスタートの秋。

その第一歩を踏み出すべく、12日(木)に生徒会役員選挙が行われました。今回は会長に2年生2名、副会長に1年生5名の立候補があり、自分たちの自治活動に対して進んで取り組もうとする積極的な姿勢が見られました。

投票に先立って、9日から朝の登校時や昼の放送で支持を訴える選挙活動が行われ、どの候補者も自分へ投票してくれるよう声掛けするなど、意欲的に活動に取り組んでいました。

選挙当日は、始めに各立候補者の応援弁士による応援演説、そして立候補者本人の演説と続き、どの生徒もそれぞれの候補者の話に耳を傾けていました。

その後、選挙管理委員による投票の仕方の説明に続き、いよいよ投票です。実際の選挙で使う記載台や投票箱を町の選挙管理委員会様よりお借りして投票を行いました。生徒たちは自分の思いを候補者に託して投票していました。

開票の結果、生徒会長に2年 齋藤蒼弥さん、副会長に2年 氏家沙奈さん、1年 布川悠希さんが当選しました。選ばれた新会長・副会長のリーダーシップのもと、全校生徒が一丸となって吉田中学校のよき校風を受け継ぎ、更に発展させていってほしいと願っています。



思春期保健体験学習①

9月18日(水)、3年生を対象に思春期保健体験学習を行いました。これは3回予定している学習のうちの1回目となります。今回は町の生涯学習課と子ども未来課の方々にお世話をいただき開催している行事です。始めに幼児のもつ特性について講話を聞いた後、子どもの遊びについて実技も交えながら体験を行いました。

子育てサポーターの皆様の分かりやすい指導もあり、生徒たちは保育所の当時の自分を思い出しながら、子どもの遊びについて学びました。今回の体験をもとに、10月22日(火)に吉田保育所を訪問し、実際に保育体験を行う予定です。



宮城県では現在、「学ぶ土台づくり」に力を入れていきます。これは、小学校入学前の幼児期を人格形成の基礎を培う時期として、豊かな心情や学ぼうとする意欲を育てていくというものです。今回の学習は、現3年生がやがて親となって子どもを育てるときに役立つ学習ということになります。そのときに今回の学習を思い出し、よき父、よき母になっていることを願います。

